

日産厚生会玉川病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名（研究番号） 胸腔子宮内膜症性気胸の術後気胸再発に骨盤子宮内膜症が与える影響の検討（No. ）

当院の実施責任者（所属） 坪島顕司（気胸研究センター）

他の研究機関および なし

各施設の研究責任者（所属）

本研究の目的

胸腔子宮内膜症性気胸（TEP、いわゆる月経随伴性気胸）は30-40歳代の女性に発症する難治性の疾患です。何らかの理由で本来お腹にある子宮内膜組織が肺の表面や横隔膜などに存在しています。その子宮内膜組織が生理周期に合わせて弱くなり、肺や横隔膜に穴があいてしまうため気胸を繰り返し発症するものと考えられています。治療は手術による子宮内膜組織の切除が第一選択とされていますが、それでも術後再発率は30-40%と高率です。そのため更にTEPの特徴を詳しく知ることが必要な状況です。

これまでの研究で、TEPを発症する方は一般の方よりも骨盤子宮内膜症（PE）を診断される割合が高いことが分かっています。PEはTEPの病態に関わっていることが推測されますが、TEPの術後成績との関連は明らかにされていません。

今回、2011年1月から2021年12月までにTEPに対し当院で手術を受けた方を対象として、術前にPEを診断された方と診断されなかった方の術後再発の有無などを比較する調査をいたします。

本研究を学会、論文発表することで、TEPの治療成績向上に役立つことが期待できます。

調査期間

倫理委員会承認後から2025年3月31日まで

研究の方法

●対象となる患者さま

（使用する試料等）

当院で2011年1月から2021年12月までにTEPに対し手術を受けた方

●利用する情報

カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します

試料/情報の他の研究機関への

共同研究施設以外への試料・情報の提供はありません

提供および提供方法

個人情報の取り扱い

利用する情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除し解析を行います。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。本研究のために収集したデータは共同研究以外では使用せず、研究終了後5年間保管し、その後はすみやかに消去します。

本研究の資金源（利益相反）

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

お問い合わせ先

電話：03-3700-1151（代表） 担当者：坪島顕司

備考